



作業も大詰めにあつた9月4日のワンショット/カラーでお見せできないのが残念です。

広報 ひがし しらかわ

No.355
H2/9

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—8月末住民登録人口から—

世帯数	910世帯
人口	3,504人
転入	6人
転出	1人
出生	2人
死亡	1人

先月と比較して6人増
昨年と同月と比較して
29人減

在校生へのステキな贈り物

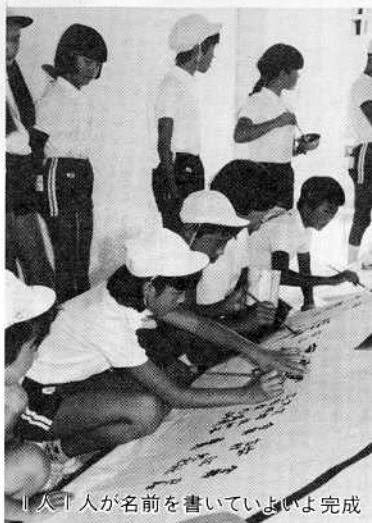
テントに絵を書いて贈ろう……そんな大胆な発想で卒業記念製作に取り組んでいるのは、東白川小学校6年生児童43人のみなさんです。

班ごとに出したアイデアを学級でまとめ、投票によって選んだという絵柄は、万国旗と動物でした。国際化に向けて羽ばたいてほしい……そして動物のようにやさしくという在校生への2つの願いを込めて、色彩豊かに書き上げた作品が上の写真です。

フランスをはじめとする16か国の国旗は、書きやすさを重点に選びました。

クマはたくましく、ウサギやアヒルはやさしさを、そしてクジラやタコは「運動会の日暑いから水のある風景を」という配慮で決めたそうです。

長さ5.4m、幅3.6mのこの2つのテントは、10月7日の運動会で披露されます。



「次」人が名前を書いていよいよ完成

熱意が感動を呼んだ!!

’90ふるさと夏まつりザ・五介…

動員スタッフ延八百人

若者は考えました。

「どうやってたら、やって楽しく一人でも多くの人に参加してもらえるか。」

無理のない範囲で、しかも、限られた予算の中で新鮮味のある感動をと……

八月十四日、神土運動場を約三千人の来場者が埋めつくした「90ふるさと夏まつりザ・五介」は、そんな仕掛人の思いと期待を寄せていた来場者の波長が合っ、会場はフレッシュな感動に沸いていました。

「よくやったなあ」「ご苦労様」「今年はやかったぞ」と、スタッフの肩をポンとたたいて声をかける観客。額の汗を手でぬぐいながら、ありがとうございましたと会釈するスタッフ。

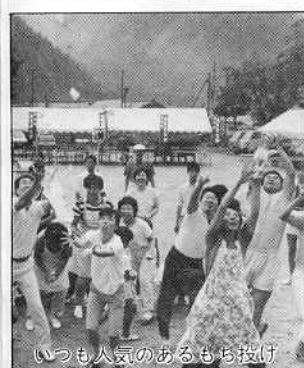
そんな光景がいつになく輝いて見えた今年の夏まつり、あなたにはどんなふうに映りましたか？



ホカランテとゴミラを捕えようと銭形の親分と子分が登場



村をさけいにしてねどホカランテも大入り



いつも人気のあるもち揚げ



五介の楽市楽座は新鮮野菜がいっぱい



右がゴミラ、左がホカランテ、こんな顔に



美空ひばり「りんご追分」踊り

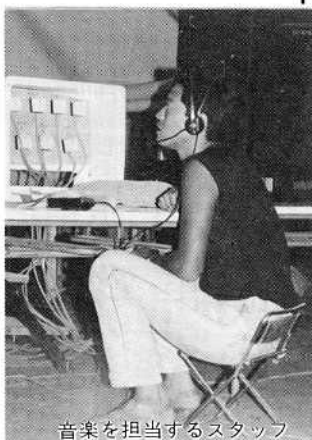
手つきながら連協がすべて対応。プロ歌手を呼ばないで手作りの歌謡ショーをやらうと、衣装メイク、演出、司会、音響、照明すべてをこなしきり地元出演者三十三人にスタッフ



がフィナーレのあいさつ



テレサ・テン「つぐない」



音楽を担当するスタッフ

持ちスタッフ全員が創意工夫を凝らして臨んだ文字どおりの手作りイベントだったのです。準備期間約四か月半、会議数五十八回、スタッフ動員数延べ八百人、五介のかわら版発行八回、総合チラシ一回、有線放送PRと「やるだけのことはすべてやった」という東白川青年団体連絡協議会の今年の取り組みは、新しいイベントの形を方向づけるものでした。

十五回のまつりが礎石となる

新鮮さと感動を呼んだ今回のイベントは、手づくりになっただけにスタッフの出役も二倍以上に膨れました。しかし、それがさほど負担になっていないのは、自分たちがやって楽しいイベントを組み立てたからです。そうした、新しいイベントの発想は十五回の流れの中にありました。昭和五十年七月、村民センター竣工を祝った「東白川村商工



反省会は深夜までにぎわった

まつり」が皮切りとな
って第七回までその名
称が続きました。
初回は、物産販売だけ
で充分だった祭りも、二
回目には地元音楽グルー
プによるステージが加わり
三回目にはプロの歌手が
といった具合に回を重ねる
ごとに新しい内容が盛り込
まれていきました。
それは一つの盛り上がりでも
ありませんが、準備にかさむし
わ寄せは年々重くスタッフにの
しかかっていたのです。
第八回目になると、そうした
ことが引き金となって実行組織
を縮小した形で名称も「納涼夏

フレッシュにワンショット!



五介の白川攻め
いきなりアクシデント



スズムシのプレゼントを手に大喜び

夏の1ページ

祭り大会」に変えて
二年続きました。
そんな中で、昭和六十年に
商工会青年部が立ち上がり、第
十回目から「ふるさと夏まつり」
になったのです。
第十二回目になると農協青年
部、林業グループ・青年団が新
しく加わって企画運営委員会が
これを運営するようになり、そ
の翌年、この運営委員会が母体
となって東白川青年団体連絡協
議会の発足に至りました。
なぜ、第一回から名称さえ定
着しなかったのか。それは、ど



神生運動場は観衆でいっぱい



あの日の人魚は私です

こにもない祭りを探そうと試行
錯誤を繰り返していたからです。
のしかかる壁から脱皮!
あえてここで、夏まつりの経
緯を振り返ったのは、今年の運
営組織であった五介軍団さんば
う本部員栗本重秋さんの言葉が
すべてを物語っていたからです。



吉幾三「海賊」



梅沢富美男
「夢芝居」



夜のヒットスタジオが祭り五介

「今年の夏ま
つりは一つの節目
にあった。夏まつりの
経緯がそれを物語っているよ
うに、昨年よりは今年、今年よ
りは来年といったふうに何か一
色新しいものを加えな
いと飽られてしまう。
そのときどきの役員は、
ともした火を消さない
ようにと必至で新しい
企画を試みるが裏方で
携わる者はいつも同じ
人。一番ご苦労で大切
な裏方さんが企画段階



イベントを見守るスタッフ

一人一役を受
け持ったこと
と、スターを
呼ぶ金がなく
一八〇度見方
を変えたこと
が、今回の脱
皮につながっ
たと思う……」

に入っていないがために、
スタッフ間の意志の疎通がなく
おもしろ味がなくなつて去つて
いくという傾向にあった。
ましてイベントの内容も、十
五回まで続くと観衆の目が肥え
てしまい、一流のスターを呼ば
ない限りは素通りされてしまう。
近ごろ県内の町村で一流スタ
ーを呼んだイベントがはやりにな
っているようだが、あれは町
の観衆の目が頂点に達したとい
うことを物語っている。村の場
合も、このままプロに集客をゆ
だねていたら近いうちに頂点に
達してしまうだろう。
村でも一回は一流スターを呼
ぶことは出来ても継続性のない
ものを単発で打ち上げることは
非常に危険である。
今年の夏まつりは、そうした過
去の経緯を二か月間余りかけて
徹底的に分折した上で立ち上つ
た。役員から裏方さんまでいっ
しょになって企画を組み立て、
さらに新しい仲間を呼び入れて



東白川病院診療棟

二十五年度に全面改修!!

東白川病院診療棟は、昭和四十年に村の総合医療センターとして建築されて以来、四十八万人余の患者の診断治療に貢献してきました。

その間、建物補修等の手を施すことが出来ず、長い間、古い、不便と言われご迷惑をおかけしてきましたが、この九月十日から全面改修工事に着手し、十二月中旬には上の完成予想図のように明るくスマートな診療棟に生まれ変わります。

工事期間中の診察・診療・検査等については、すべてを病棟の二階へ下記のように仮移転しこれまでと同様に行います。お越しになる場合は、病棟の正面玄関を入って階段またはエレベーターで二階へ上ってください。受付は、向って左側にあります。

夜間、薬を受け取りにこられる場合は、一階の看護婦詰所窓口に出してありますのでお待ち帰り下さい。

さて、今回改修工事の主な内容は、東側にあった玄関を西側に変更し併せて受付・診察室等

の配置を変えることです。これによって、診療棟、病棟、母子センターの玄関口が向い合せになり、総合的に利用しやすくなります。また、現在の玄関の位置には、新しく超音波診断室を設置し、耐用年数を超えたレントゲン装置の更新も併せて行い

ます。そのほか外壁、内壁の吹付替え、間仕切のやり替え、各出入口ドアの取替、床の張り替え、衛生器具等の取り替え、暖房設備のやり替え、冷房設備の新設、鉄製建具の取替工事など約二十項目にわたる全面的な改修となります。

工事中の診療は病棟 2 階で



病棟 2 階見取図

この見取図は、病棟の 2 階を真上から見たものです。ご覧いただけるように、リハビリ室を受付、薬局に、また病室 6 部屋を使って診断・治療を行います。工事完成までの約 3 か月間は、病棟施設の利用に不便をお掛けしますがご協力をお願いします。

後山開発に弾みをつける 基幹農道神土線いよいよ着工

立村百年を迎えた年に施工計画を立てたことから仮称「百年道路」という名で昨年来準備を進めてきた基幹農道神土線の第一号工事が、このほど発注され今後、平成四年までの三年間に総額五億五千万円をかけ総延長二千二百五十メートルを整備することにしました。

この事業は、県営畑地帯総合土地改良事業により県が行うもので、平集落と神付、中谷、加舎尾集落を結ぶ基幹農道として整備します。が、総合グラウンドを中心とした後山開発構想に弾みをつけるものと期待されます。

この農道の全線ルートについては、左下の地図に掲げたとおり、神土保育園横村道から農協スタンドまでの区間を除いては神田神社、総合グラウンド、高島屋墓地へと通じる村道後山線が基本ルートになっており、一部新設を行って神付五葉会館付近へ通じる道路として開設します。

今年度は、神土保育園から総合グラウンド下第二駐車場までの区間五百二十メートルを開設しますが、工事に当たってはこれを三つに分けて発注し、同時に進めながら来年の三月中旬完成を目指して急ピッチで始まっています。

工事中に交通規制

工事中の通行については、はなはだ支障のないように進めますが、農機具センター前ほか二か所の橋梁工事および後山谷の付け替え工事の際は交通止めとなります。

その場合の迂回路は、中谷からの現道の後山線を利用していただくこととなりますが、現状のままで路面が悪く通行に

支障を来すため、交通止めでは全線の簡易補修を行います。

そのほかは時間規制または片側通行等で対応する予定ですが、神田神社例大祭等の大きな行事に際しては、支障のないようにします。

こうした通行規制、交通止めについてはその都度お知らせしますが、工事中、大型車輛が通行しご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

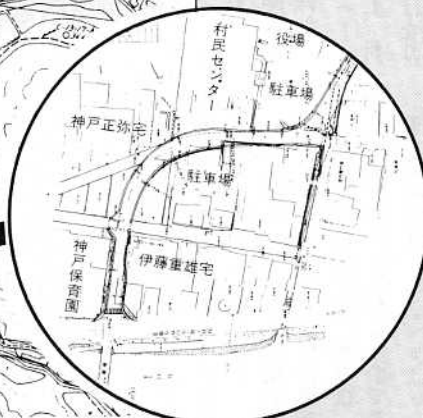
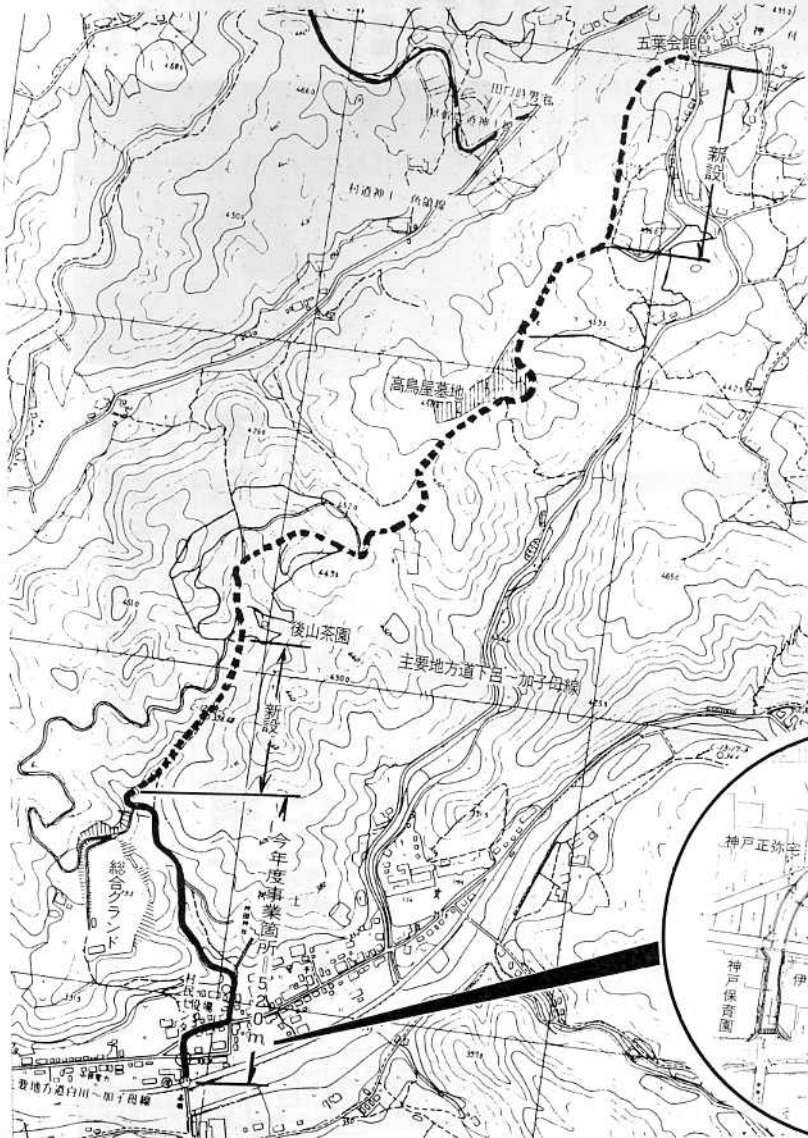
平地内の工事区間は…

下の拡大図は、平地内の工事区間を示したものです。

県道に接続する神土保育園横の村道を起点に神戸正弥さん宅の農地を通過して農協本所の前で村道に接続し、

役場前の駐車場にかかりながらカーブを描いて村道後山線に接続します。幅員は全線5mです。

これに伴って役場前駐車場が狭くなりご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。



財政事情の公表

平成元年度の村の財政は 立村百年を機に大幅増加

平成元年度はいろいろな意味で節目となる年でした。村の財政の規模も一般会計で二十億円の大台にあと少しと迫りました。この規模は積極行政推進のひとつのハードルです。

村の会計年度は毎年四月一日に始まり三月三十一日に終ります。しかし三月三十一日にすべての会計を締切るわけにはいかないので五月末日をもって前年度の会計を締切り、決算をまとめます。

まとまった決算書は監査委員の審査を受け、九月の議会定例会で審議され承認を受けることになっていきます。

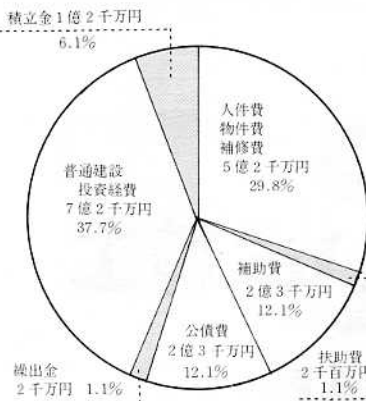
このほどまとめられた平成元年度の村の総合決算は下の表のように歳入総額二十八億四千五百万円余、歳出総額二十七億一千八百万円余となりました。

歳出総額を前年（六十三年）と比べてみると八割以上の増加となっており、特に一般会計は立村百年を契機にした各種の事業実施により十一割を越す大巾増加となりました。

一般会計の中では、道路を作ったり、施設を整備するための普通建設事業への投資が三十八割近くと最も大きくなっています。

積立金はふるさと創生資金の積立によって前年より大きく増えました。

公債費というのは今までの借入金の返済にあてた元金と利息のことです。



平成元年度一般会計の性質別歳出 (総額 1,915,807千円)

平成元年度東白川村各会計の決算状況 (単位千円)

会計区分	歳入	歳出	差引残高
一般会計	1,999,638	1,915,807	83,831
国民健康保険特別会計	250,071	213,577	36,494
老人保健特別会計	206,924	205,775	1,149
有線放送電話特別会計	27,924	25,787	2,137
分収造林費特別会計	1,385	1,385	—
病院事業会計	359,576	356,537	3,039
合 計	2,845,518	2,718,868	126,650

すべて特別会計と呼ばれますが、このうち「国民健康保険特別会計」は、農林業、自営業の人の医療費の支給を行っています。

平成元年度の保険料、この保険から支払った医療給付費は一世帯あたり二十三万三千二百六十九円でした。

一方一世帯当り納めた保険料は十六万八千二百三円となっています。

この保険会計から支払われる医療費は全国どの病院へかかっても、東白川



体も財政も健全第一 明日へ伸びる力を温存

健全財政とは、何もやらないで金を残すことではありません。ある時は緊縮に、あるときは大きく伸びて……。いよいよ大きく伸びるときが目前に来ているようです。

村の加入者の分は、すべて東白川村の保険から支払われますが、他町村に比べて私たちの村は、この医療給付（支払い）が少いことが特徴です。ということはそれだけ健康度が高いということであり、長い間続けてきた保健行政の成果を見ることができま

さて、歳入から歳出を差し引いた額（元年度の場合一億二千六百六十五万円）は次の年度へ繰越されますが、村には別に、いろいろの目的のために積立した「基金」があります。

その種類は十二あって、元年度末の総額は三億七千七百八十七万九千円となっています。

上の円グラフの中の「積立金」一億二千万円がその基金に積立てられたものですが、基金は一般家庭の預金にあたるもので貴重な財産です。

病院事業は、外来患者が二万六千人余り、入院患者が五千余人りで、医業の収益が二億六千万円余となりましたが、一般会計から七千万円の補助をして不足分を補いました。

平成元年度決算

こだわり！徹底したこだわりの中に新しいエネルギーが……



先月号の提言は、安江建夫さんの「人が輝けば地域が輝く」！豊かな村づくりは「心づくり」からでした。

さて、今月の提言者は、保健婦の鈴村のぞみさん(22)です。鈴村さんは白川町赤河の出身ですが、村に在住して保健活動に取り組み、縁あって富山県の利賀村へ出掛けることになった鈴村さん。そこで見た多くの発見と感動の手記を紹介しましょう。

小さな村の大きなイベント

とにかく「利賀村はすごい！」
(八月四・五日利賀村へ行った感想の第一声)

この利賀村というのは、富山県の八尾の近く、人口千百人余りの小さな村です。深い山の中で、冬になると四・五メートルの雪におおわれ、陸の孤島とも言われてきた所でした。峻険な山と少しばかりの農地、他には何もないこんな村で、知る人ぞ知る『国際演劇祭』が行われているのです。

国内はもとより国外からも万人規模で人が集まる大々的なイベントを、あたりまえのようにやっている村です。本当にここ

は山村なんだろうか？と不思議に思うほどの村、それが利賀村です。

人をひきつける不思議な魅力？

ところで、なぜ私が利賀村へ行ったのかと言うと、今年六月広島で行われた逆手塾に参加した際、利賀の青年団員と知り合い、チャンスが得られたからなのですが……何にしても、利賀で感じたことは、「一体どうしてこんなに人が集まってくるんだろう？」「なぜこんな山村で世界の演劇が……」ということでした。

しかし、二日間いるうちに山村という地味なイメージと華やかなイベントの不釣り合いなギ

ャップを感じながら、ひよっとすると利賀の魅力はどんな逆境をも逆手にとりながら、ものの魅力を引き出すことで地味さを華やかに演出させているのではないかと思いはじめたのです。

「こんな山ん中じゃあダメだ。」
「こんなに雪が降っては何にもできやしない。」

よく口にしがちな言葉ですが利賀にはこの「ダメ」「できない」がないのです。利用できるものはなんでも利用し、その魅力を最大限に引き出してやっているなど、実験させられてしまっ村なのです。

こだわりは村人のエネルギー

国際演劇祭は一つの例ですが他にも、利賀では名産のそばを追求したそばの里や、自然を満喫できるキャンプ場などなど、パワフルに動いている村です。

これは負けちゃいけないなと思うと同時に、トコトン村を追求するこだわりの様なものを感じました。このこだわりと、

村人のエネルギーが、人を引きつける力なのではないかと思いました。

村を否定せず受け入れよう！

まず、徹底的に村を追求してみる。そこから何かが見い出せばそれにこだわってみる。そこから何か新しいエネルギーが生まれてくる。エネルギーが人をひきよせる。そのくり返しが村の活性化となるのではないで



合掌造りを改造した会場で世界演劇祭が行われている

しうか。

イベントをすることだけが活性化とは思いません。華やかなイベントの裏にある、地道な村の中の改善と村外者を受け入れる態勢づくりも村の活性化のための大きな柱ではないでしょうか。華やかな部分だけを追いがちですが、本当の活性化とは、イベントでも他のことでも、それを組み立てていく段階にあるのではないかと考えます。

まず自分が村を好きになること、そして村を否定せず受け入れること、そこからはじまるのではないのでしょうか。

お寄せください

あなたの提言

先月号から新しく始めた活性化への提言は、村民のみなさんの「声の広場」です。

あなたが取り組んだ行事を通じて、また旅行、研修先で感じた感動など、どんなささいなことでも結構です。

無限の可能性を秘めた東白川村の「生き生きとした村づくり」へのあなたの提言をお待ちしています。

投稿は、役場企画課広報担当へお寄せください。
有線は二二五五です。

謎？

神秘的な光を放つハナノキの根……その正体は

夜十時ごろ、たき火の火を見に行った神付の早瀬甲司さんは、燃えないで残っていたハナノキの根の部分から黄緑色の光が出ていることに気付き、引き出して削ってみると根全体がホタルの放つ螢光色をしていました。寶石のようにキラキラと光っていたというこのハナノキは、



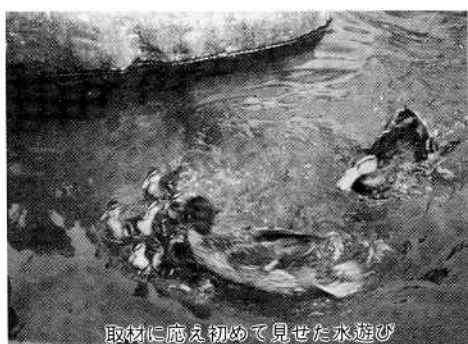
光るハナノキ

二年ほど前から朽ち木になっていたもので、明るいところではふつうの木肌をしています。

この三月まで岐阜大学の生物資源利用学科の教授を勤めておられた神付の安江保民さんは、ハナノキのあった周辺の環境から判断して発光バクテリアだろうと推察されましたが、その種類については不明なため県林業センターと山形大学へ資料を送って調べてもらうことになりました。

子育て

庭の宿で生やした七羽の子ガモ



取材に臨み初めて見せた水遊び

七羽の子ガモが楽しそうに水遊びを楽しんでいるのは、大明神の桂川久巳さん宅です。

昨年の七月、オス一羽、メス二羽の親ガモを買ってきたところ、この夏卯九個を産み「可愛い七つの子」を育てました。

親は毎日教育に精を出していますが、子ガモはいずれ劣らぬわんぱく揃い。飼育カモが卵を生やすのは珍しいとのことですが環境が良かったのでしょうか。

伝承

おれたちの村は山の村、サラリーマンでも木を伐るぞ



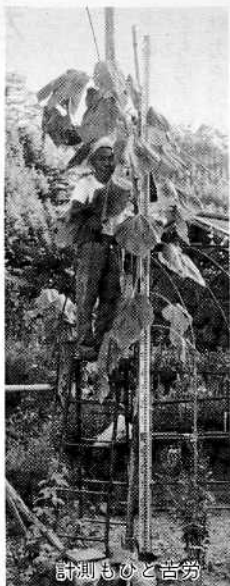
伐採は受講生のほとんどが初体験

サラリーマンでも山を持つている人がある、そういう人は日曜しか山の手入れができない。ひとつそういう人を対象に講習会をやらう。もちろん日曜日に……。

かくして九月二日、東白川村森林組合の企画で下親田の新集村有林に十六人が集合しました。受講生は、大工、土建業、役場、団体などに勤める二十歳代から四十歳代までのみなさん。

ギネス

グングン伸びたヒマワリ三メートル八十センチで記録更新



計測もひと苦労

今年の異常気象が弾みになったのか、加舎尾の田口隆一さん宅のヒマワリが伸びに伸びて三メートル八十センチを記録。公式記録を三十五センチも上回ったいまちゃ

土作りのおかげでしょうか、「もつと肥でもすればよかったかな……」とは田口さんの感想。希望の人には種をお分けしますとのこと。

ンピオンです。こんなに伸びたのも、日ごろの

腰にナタ、ノコギリ、手にはチェンソーといういでたちで現場へ向いました。待ち受ける講師は現役のプロフェッショナル。まず間伐材の選木の説明を受けたのち、いよいよ伐採の実技です。相手は直径二十七センチほどの松の大木？、チェンソーをかまえる腰つきは少しおっかなびっくりでしたが見事に成功、伐倒した松は造材し、ラジキャリという搬出機械で出材して、ひととおりの学習過程を終え、山の大気と林業技術を吸収しました。

■戸籍の窓

八月 敬称略



誕生おめでとう
ございます

ん

(陰地) 大坪七三男 (愛美)

じ

(大沢) 今井 英史 (将聖)

い

ちなつ (長男)

け



いつまでも
おしあわせに

田口 昌克 (柏本)
ナンシー・アルクワイリア
・サンタロサ (フィリピン共和国)

本音

高校生が村づくりに参加 がやがや会議開催



屋食を取りながら意見交換

高校生を乗せたバスが村を走り、エー、いっ、う、な道が出来ちゃった。たの！女の子はにぎやかです。八月二十五日、村の高校「一」三年生を対象に、初めて開かれた「高校生がやがや会議」はその名のとおりの明るい笑い声で始まりました。二十一世紀へ向けて、村が進んでいる計画づくりに、フレッシュ高校生を反映したいと主催者の村長もサーピスに懸命誇りをもって人に紹介できる村づくりが課題でした。



川シーズンの終りを告げる白川の清掃作業が九月二日、明るい社会づくり推進協議会（今井

好美会長）の主催で行われ、約七百人が参加しました。すっかり定着したこの清掃作業も今年で十年目を迎え、作業をした人たちは、あらかじめ目星をつけていた場所へそれぞれに分かれ、拾い集めたゴミを金物とガラス類に分けては手際よくまとめていました。集めた空き缶などの不燃物は四ノトラツクに三台分ほどありましたが、その量は年々少なくなっており活動の成果が伺えます。

奉仕

ゴミの量トラック三杯！ でも成果は着実に上ってきた

目撃

全国サミット準備の矢先 ツチノコが出た！！



ツチノコ目撃現場

全国ツチノコ目撃者サミットをこの九月二十三日に恵那峡ランドの会場を借りて開催する準備を進めていた矢先、ツチノコの目撃されたのは平の菊田丑夫

さんです。八月十八日の午前九時五十分ごろのこと、菊田さん宅裏の川原で草刈りをしていると鉄板の下へアオダイショウに似た尾がサッとい入るのが見え、以前家の近くにいたアオダイショウだと思いい鉄板のフタをそっと起したところそこにいたのは銀色にキラキラと光る太さビールビンほどのツチノコだったのです。この続きはぜひサミット会場でお聞きください詳しくはチラシでお知らせします。

汗！

三十周年記念に商工会挙 げて公共施設整備



中学校渡り板の修善風景

東白川村商工会では九月二日、「商工会設立三十周年記念事業」として、村内公共施設の営繕作業と主要道路沿いの空きカン拾いを行い、全商工会員の約六十六人に当たる百四十人が参加して奉仕作業に汗を流しました。当日は、二つの班編成をして村内各所に分かれ、大工さんら技術者のグループは村民センター、保育園、小中学校、母子センターのペンキ塗りや、雨漏れ



おくやみ
申しあげます

伊藤 俊一 78歳（下野）

■善意の寄付 敬称略
【社会福祉協議会へ】

現金一万二千二百円―上・下親田長壽婦人会―現金四万五千三百六十二円―山田土建従業員一同

（チャリティーバザー売上金）

現金三万円―谷川亮子（横浜市）―現金一万四千十円―平組（平商工まつりチャリティー売上金）

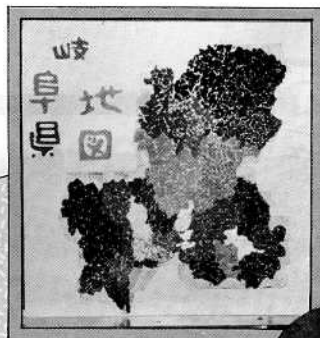
【神土保育園へ】

飲み茶五・五銘―東白川村茶業振興会

の修繕、棚の取り付け、渡り板の製作などを行いました。

また、道路沿線と公共施設周辺の缶トリ作戦では、商店関係者を中心となり空きカンから粗大ゴミまでを一掃して、四ノトラツクに山積みされました。

この事業は、「地域に貢献する商工会」の全国スローガンのもとに、三十周年を節目として「地域と共にあるべき商工会の姿を会員一同もう一度確認しよう」というねらいで行ったものです。



▲夏休みの作品
(卵のカラの貼り絵)
東白川小学校4年
今井あいさん(平)

わたしの作品

お知らせ



国勢調査に

ご協力ください

10月1日

平成二年国勢調査が十月一日
全国一斉に行われます。

本村においても、調査員二十
一名が今月二十三日頃より皆さ
まのお宅へ、調査票をお届けに
お伺いしますのでご協力をお願
いします。

**身体障害者の方は
電話番号案内が
無料になります**

12月1日からN.T.T.の電話番
号案内が有料となりますが、電
話帳の利用が困難な身体障害者
の方は、あらかじめN.T.T.にお
申し込みになれば無料となりま
す。

対象となる人は、視覚障害者
(一級・六級・肢体不自由・上
肢・体幹のみ)一級・二級)と
戦傷病者(視力障害「特別項
第六項症」上肢障害「特別項

症「第二項症」の方です。

申し込みの方法は、役場住
民係で用紙を受け取り、必要
事項を記入してN.T.T.へ直接
送付していただきます。

詳しくは、役場住民係(有
線二一六二)へお問い合わせく
ださい。

**あなたのプラン実現
に土地利用型資金が
お手伝いします**

「土地利用型農業経営体質
強化資金」は、農林漁業金融公
庫が今年度新しく導入したも
ので、農地の取得や経営面積
の拡大など農業経営の改善プ
ランをお持ちのあなたにお勧
めします。融資の対象は

一、農地の改良、造成
二、農地、未墾地の取得
三、農地などの利用権の取得
四、農業用施設、農機具の改
良、造成、取得などです。
●年利率 三・五〇●返済期
間 二十五年以内
詳しくは役場農務課まで

ふるさとのことば 20

☆あじめ

秋になると「あじめ」と「まつたけ」を混ぜた味噌飯が食膳を賑わします。まさに、ふるさととの珍味です。

ところで、この「あじめ」、正しくは「アジメドジョウ(味女泥鰌)」といいます。

日本特産、しかも中部日本の一部の河川にだけ生息する魚で、昭和十二年(一九三七)、故丹羽彌博士の研究で新種とされました。

アジメドジョウは、秋になって川の水温が低くなると、群をつくって上流へ移動し、川底から伏流水の吹き出す場所を求めて集まり、砂利の下に潜入して越冬します。

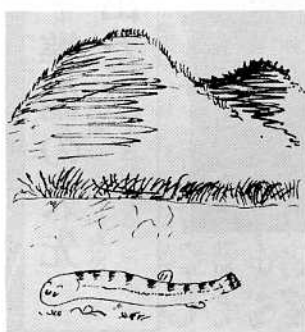
「あじめ」を捕るのはこの時期で、「あじめあな」を掘り、「あじめうけ」を仕掛けます。

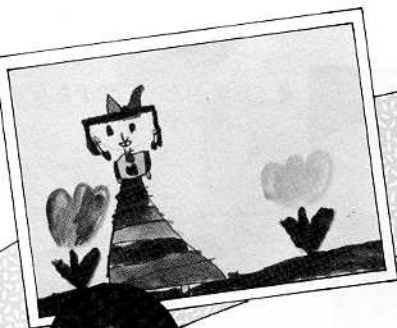
「あじめあな」は「アジメ穴」と書きます。伏流水の吹き出す場所に、あらかじめ「アジメ穴」を差し込むための穴を開けた木箱を埋め、湧き水が穴から流出するように導きます。その穴に「アジメ穴」を差し込んで、湧き水に集まってくるアジメドジョウを捕らえるのです。

「アジメ穴」は金網を材料にして作ることもあります。が、やはり、よく捕れるのは竹製の細長い筥です。「アジメ穴」を仕掛けることを「うけをつける」といいます。仕掛けた筥の前の砂や砂利の敷き具合はもちろんですが、筥と筥から出てくる湧き水の流れが一直線になることが「うけつけ」のコツです。

ドジョウ科の魚は春から夏にかけて産卵するのが普通ですが、アジメドジョウは厳寒に伏流の中で産卵します。

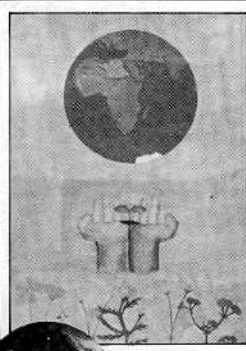
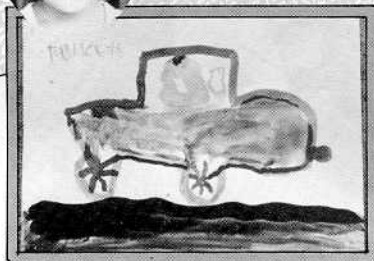
以前、元神土小学校に赴任していた釣り好きの先生が、厳冬の一月半ばかり、釣りの餌を捕るため中谷の小川で小石を動かしていたところ、アジメドジョウの群を掘り当てたことがあります。いずれにしても「あじめ」は生息力の強い魚です。大切にしたいものです。





▲おひめさま
神土保育園
いまいかおるちゃん
(5歳=西洞)

▼じどうしゃ
神土保育園
たじりともやくん(5歳=神付)



▲緑化運動ポスター
東白川中学2年
村雲加代子さん
(神付)

▼選挙ポスター
東白川中学校3年
安江あゆみさん
(黒測)



今月の図書

青い壺

青い壺

有吉佐和子著

主人公である青い壺は、十年余の歳月をさまざまな人間と、その人生のある部分でかわりを持ち、哀歓をわかち合った…「静」の壺に対して「躍動」する人間像を、絶妙のタッチで捉え、読者の心をとらえてくれる小説です。

犬のいる窓

平岩 弓枝著

山の手住宅街に連続して起った愛犬毒殺事件! ちょっとアブナイ仲の二人、犬の訓練士と獣医が愛犬とともに謎を追う。コミカルでスリリングに展開するニューミステリー。平岩弓枝久々の推理小説です。



進めています=ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) —敬称略—

【平】基幹農道後山線1号工事・神土保育園〜神田神社宮橋・延長220m・幅員5.0m・34,505千円・山田土建㈱・3/10・県▶同2号工事・神田神社宮橋〜同神社車道入口・延長140m・幅員5.0m・27,604千円・山田土建㈱・1/31・県▶同3号工事・同神社車道入口〜総合グランド下駐車場・延長=160m・幅員5.0m・39,655千円・丸登建設㈱・2/23・県▶東白川病院診療棟改修工事・96,000千円・大井建設㈱・12/15・村

【上親田】神明線舗装工事・大坪清吾宅〜わらびの線入口・延長522.5m・幅員4.0m・13,493千円・(株)マルト土木・12/4・村

【神付】神土角領線薄層舗装工事・安江至好宅〜中島克巳宅と今井直道宅付近・延長460m・3,550千円・丸ス産業㈱・10/15・村

【西洞】西洞本線舗装工事・東橋〜安江利一宅・延長961m・19,454千円・西野建設㈱・12/10・県

【日向】杉本橋橋梁修繕工事・桂川勇吉宅裏・延長3.85m・1,350千円・新田建設・11/5・村

【黒測】穴沢林道改良工事・早川彰一宅裏・延長35m・幅員4.0m・1,100千円・丸登建設㈱・10/12・村▶基幹農道越原線舗装工事・氏神橋〜安江喜好宅裏・延長286m・10,094千円・丸ス産業㈱・11/30・県

【大明神】平野屋橋橋梁修繕工事・安江巽宅前・延長14.1m・1,030千円・山田土建㈱・11/5・村

【柏本】公営住宅建設工事・木曾渡村有地・2棟4戸(62.78㎡/1戸)45,300千円・東白川木造建築組合・2/28・村

【大沢】大沢本線舗装工事・今井真澄宅〜小池辰夫宅・延長194m・3,927千円・西野建設㈱・12/10・県

私の一品

愛を運ぶ折紙

「この紙が廃品になる前にもういっぺん生きればなあ」
そんな思いを広告のチラシに込めてコッコツと折り続けているおばあさんは、平の澤木きしのさんです。
今年、八十五歳になられた澤

木さんですが「元気なうちに少しでもためになることが出来たら」と、広告のチラシで使い捨てのゴミ箱(写真左)を作っては、寝たきりの人や子供たちにあげています。
「先日、加子母のやすらぎ荘で八十個ほどもらっていただき、今は村内の福祉に役立てばと百個ほど出来上がりました」
手先の器用な澤木さんは、このほか筆入れやハサミ入れを工夫しては作っていますが、「おばあちゃんありがとう」の一言が励みになって今日もコッコツと精を出しておられました。





▶ (明生さん・初美さん
長男＝大沢)



今井 崇仁くん



初雲 さやかちゃん

▶ (陽司さん・一江さん
二女＝柏本)

▶ (幸生さん・恭子
さん長男＝平)



田回 泰生くん



今井 亨くん



安部 大地くん

▲ (泰男さん・加代子さん
長男＝大沢)

● 短歌

広報文芸

久々に病快ければ台風の過ぎたる稲穂手にとりて見る
雪折れの松はねたまま夏に入りかずら棚らめりもゆる陽の下
呼ぶ声に目覚めて回り何へど淡き夢なりき亡き妻の声
しらじらと明けそめる頃より燕子の餌運ぶらし離の声して
遣されし言葉懐し四年経て母の遺影に熱き茶供う
わが子はや征きしまなる叔父の年遙かに越えて夏巡り来ぬ
久々に研ぎし手鎌に路の端の繁れる雑草刈りて息つく
富士といふ名の気高さをそのままに真白き菖蒲一群すがし
師の歌を読み思ほゆ初盆に励ましの声聞ゆる如し
花ごぎを展べて座れば鮮しき蘭草匂ひて古家涼しき
水にゆらぐ鮎の姿も見当らず川面吹く風秋の気配す
高速路を夜通しかけて走り来し釣人達に熱き茶すすむ
山土に絶えむササユリ掘り上げて人工栽培の講習受く
黙祈の瞳に浮ぶ亡き戦友は二十二才のままにて老いず
捲きのぼる軒の朝顔幾本の蕾もちつつ咲く日待ちをり
朝涼の散歩路を這ふ兜虫早く隠れよ幼がくるぞ
待ちわびし社会見学に発つ朝をスキップふみゆく小四の孫は
幾たびも顔を洗ひて一時の暑さ凌ぎつ日暮れ待たるる
友よりは遅れて咲きし朝顔の大輪の藍この朝をめづ

早瀬 勇造
小池 きぬゑ
安江 香
安江 幸
安江 龍玉
小池 弘子
田口 一枝
古田 よし江
早瀬 久子
今井 かな
安江 節子
三戸 きり
村雲 うめ
安江 嘉久一
安江 すみよ
安江 守平
安江 澄
伊藤 美枝
伊藤 重雄

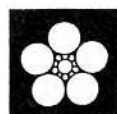
あなたの作品をお寄せください。初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。●隔数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

立村百年記念植樹

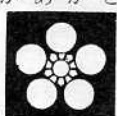
梅の話

「植物紋」家紋の中で植物を象つたもののことである。家紋は今では日常生活のなかで見ることが少くなつた。若い人など自分の家の家紋がどういふものか知らない人が多いのではないだろうか。家紋の中でも一番多いといわれる植物紋、梅の紋を探してみた。六月号のこの欄で紹介した「東風吹かばにはいおこせよ梅の花……」の歌の作者、菅原

真が愛した梅を神紋としている。▼梅紋には梅花紋と梅鉢紋がある。梅鉢紋である。上の湯島天神の紋が代表的な系統によって同じ梅鉢でも少しづつ微妙に違う。加賀百万石のお殿さま、前田家の家紋は加賀梅鉢、その支藩の越中前田家は富山梅鉢、特に富山梅鉢紋は湯島天神とほとんど同じだが違っているのである。▼さて、わが東白川村に伝わる家紋の中に梅紋はあるだろうか？、村誌にはのっていないが、あったらお知らせいただきたい。▼今年の春植えていただいた梅の苗、たいしては荒れ畑など酸性度の強い場所にあると思う。一株あたり五〇〇gの苦土石灰を株の周囲にバラまいて土と混ぜてやり、微酸性くらいに調整すると良い。



湯島天神の梅鉢紋



富山梅鉢紋



加賀梅鉢紋